

神宮大麻曆頒布始奉告祭並びに奉斎推進委員会



神宮大麻曆頒布始奉告祭



神宮大麻授与



庁長挨拶



神宮大麻頒布優良神社表彰

愛知県神社庁は本年度神宮大麻曆の頒布を控え、9月24日熱田神宮会館に於いて、奉斎推進委員135名出席のもと、神宮大麻曆頒布始奉告祭並びに奉斎推進委員会を開催した。

熱田神宮御垣内参拝の後、午前11時より豊田支部員奉仕により奉告祭が斎行され、尾北支部牧野武彦支部長に大麻が手渡された。

引き続き神宮大麻奉斎委員会が開催された。神宮遥拝に続き、小串庁長が、「去る17日、伊勢の神宮におかれましては、神宮大麻曆頒布始祭がとり行われ、これを以て全国における頒布活動が始まりました。神事後、推進委員会が開催され、当県から碧海支部野村支部長が決意表明をされました。全国の代表として私共愛知県から決意表明を行った訳で、いよいよ増頒布に向けて努力していかなければならないとの感を強くしました。現況は、特に東日本大震災の影響と、都市部の神棚の無い家庭の増加のため、全国的には厳しい状態が続いております。これからは特に都市部の宮司様や総代様にご苦勞いただきたくお願い申し上げます。来年にお白石持ち行事、両宮の遷御を控え、大麻頒布を始めて140年の佳節の年でもありますので、その事を心に留めおいて頂き、増頒布への更なるご努力をお願い申し上げます」と挨拶があった。

続いて頒布優良神社への表彰状が授与され、3年連続増頒布神社29社を代表して名古屋緑南支部籠山神社宮司亀垣昌一氏に、また3年連続同体数頒布神社の38社を代表として新城支部竹生神社宮司宮下潔氏に表彰状が手渡された。

続いて奉斎推進委員会が開かれ、本年度の頒布活動についての方針等について議事が進められた。